

形容詞・分詞は、基本的に一語の場合、前から名詞を修飾します。

(ex) a beautiful woman 美しい女性
形容詞 ↑ 名詞

a sleeping child 眠っている子供
分詞 ↑ 名詞

a broken glass 割れたグラス
分詞 ↑ 名詞

形容詞・分詞が名詞を後ろから修飾するのは、基本的にその形容詞・分詞が他の語句を伴って全体で名詞を修飾する場合です。

(ex) behavior natural to a teacher 教師にふさわしいふるまい
名詞 ↑ 形容詞

The people attending the conference その会議に参加する人たち
名詞 ↑ 分詞

The book stolen from the library その図書館から盗まれた本
名詞 ↑ 分詞

ところが例外的に形容詞・分詞が、一語でも名詞の後ろに置かれ、後ろからその名詞を修飾することがあります。どんな場合にこのようなことが起こるのか、具体的にみていくことにしましょう。

- (1) **-thing, -body, -one** で終わる複合形の不定代名詞を形容詞が修飾する場合。
everything, nobody, anyone 等の、-thing, -body, -one で終わる不定代名詞は、必ず(一語でも)自身を修飾する形容詞・分詞をその後ろに置きます。

(ex) Nothing **strange** happened. 何も変わったことは起こらなかった

Give me something **cold**. 何か冷たいものをくれ

I'm going to give this present to someone **special**.

ボクはこのプレゼントを、特別な人に贈るつもりだ

(2) things, those を形容詞・分詞が修飾する場合。

(ex) things **foreign**[**Japanese**] 外国[日本の]の風物

會これは foreign[Japanese] things と意味的にはほとんど同じ。格式張った言い方と考えたらいい。

(3)-able, -ible で終わる形容詞が名詞を修飾する場合。

①possible, imaginable が、all, any, every, no 又は 最上級や序数を伴った名詞を強調する意味で、その後ろに置かれることがある。

(ex) every means **imaginable** 考えられるあらゆる手段

the best chance **possible** この上もない好機

He asked them to help him in any way **possible**.

彼はとれる限りのどんな方法でもよいかから援助してくれるよう彼らに頼んだ

會これらはそれぞれ every imaginable means, the best possible chance, any possible way としてもいい。ただ possible, imaginable を後ろに持って来た方が、強調する意味合いが強くなる。

②possible, imaginable に限らず、-able, -ible で終わる形容詞が all, any, every, no 又は最上級の形容詞や序数等を伴った名詞の後ろについて、その範囲を限定することがある。

(ex) the latest information **available** 入手しうる最新の情報

I'll leave here by the first flight **available**.

最初に乗れる飛行機で立ちます

會上記は、the latest available information, the first available flight としても問題ない。

ただ微妙なニュアンス的な違いは生じる。例えば

1. Every **available** patrol car rushed to the scene.

2. Every patrol car **available** rushed to the scene.

1.の意味は「どのパトカーも現場へ急行した」。

2.の意味は「その時出動できるパトカーはみな…」と一時的状態を表すことになる。

このように形容詞にしる、分詞にしる、後ろから名詞を修飾した場合、「一時的な性質(状態)」を示し、逆に前から名詞を修飾すると「本来的性質(属性)」を示すことが多い。たとえば、a drinking man は「飲んべえの男」という意味になる。一時的に「水を飲んでいる男」なら a man drinking water となる。したがって、「(一時的に)本を読んでいる少年」は a boy reading a book であり、a reading boy とは決してならない。

(4)フランス語などの影響を受けた言い方等で。

(ex) the sum **total** 総計
from time **immemorial** 大昔から

(5)固有名詞を区別する場合。

(ex) Elizabeth **the Second** エリザベス2世

(6)叙述用法に近い場合(who[which]+be動詞を間に補える)。

(ex) a baby **asleep** 眠っている赤ん坊
=a baby who is asleep
all the people **present** 居合わせた人たちすべて
=all the people who were present

(7)分詞形容詞に動詞の性質が強い場合。

(ex) Nick was among the twenty people **arrested**.
ニックは逮捕された20人の1人だった
a politician **involved** 関係した政治家
the authorities **concerned** 関係当局
the parties **concerned** (関係のある) 当事者

④involved, concerned は一語で名詞の後ろに置かれ、「関係(与)している」「関係のある」「問題となっている」という意味で受験でも頻出。

ちなみに「concerned+名詞」となる場合は「心配そうな」、「involved+名詞」となる場合は「複雑な、入り組んだ」という意味になる。

(ex) a concerned look 心配そうな表情

an involved problem 複雑な問題

(8)強調・対照・リズムなどの関係で。

(ex) America, **past and present** 過去および現在のアメリカ

(9)慣用的に後に置かれる分詞。

(ex) for the time **being** 当分の間 ※being=existing
for ten years **past** ここ10年間に
=for the **past** ten years
on Monday **next** 今度の月曜日に